

肛門の手術を受ける方の入院診療計画書

ジオン注射用

主治医 _____

入院日： ____ 月 ____ 日

様

担当看護師： _____

病棟責任者 _____

病棟： ____ 棟 ____ 階

症状説明：あなたの病名は、痔（内痔核、痔ろう、裂肛等）です。手術治療を行います。 肛門に痛み、出血等の症状があります。入院期間は約2日間です。	退院基準：痛みをコントロールできる・出血がない 肛門注入薬が使用できる
--	--

	入院当日～手術前 (/)	手術当日 (後)	術後 1 日目 (/)	
検査・治療・処置	<ul style="list-style-type: none"> ●リストバンドを付けます。 ●左手に点滴用の針を留置します。 ●浣腸を行います。 ●手術室入室30分前に排尿を済ませ手術着に着替えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●手術直後に検温し、その後は夜に検温を行います。 ●ガーゼの観察を行い、必要時交換します。 ●手術後の点滴終了後、針を抜きます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●体温・脈拍・血圧を朝6時頃と10時頃測ります。 ●午前9時ごろより医師、看護師による回診を行います。 ●消毒はせず、ウォッシュレットで洗浄し、創部にナプキンを使用します。 ●創部の状態等に問題がなければ退院します 	
薬剤	<ul style="list-style-type: none"> ●普段内服している薬がありましたら教えて下さい。 ●朝10時から点滴を始めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●点滴を行います。 ●食事開始後より内服できます。 ●痛みがある時は痛み止め、熱がある時は解熱剤を使う事があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●回診後または排便後より坐薬（肛門注入薬）を使用します。（坐薬は腫れ、痛みを徐々に鎮めます） ●下剤の内服が始まります。 	
安静度、リハビリテーション	<ul style="list-style-type: none"> ●病棟内歩行できます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●手術後、看護師が付き添いリハビリ歩行します。問題なければ以後制限なく、病棟内自由。 	<ul style="list-style-type: none"> ●病院内歩行できます。 	
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ●制限はありません 			
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ●手術する部位の除毛をします。 ●爪切りを済ませて下さい 	<ul style="list-style-type: none"> ●時計、アクセサリ、入れ歯、指輪、ヘアピンは前もって外し化粧、マニキュアはやめて下さい 	<ul style="list-style-type: none"> ●退院後はシャワー浴可能です。入浴は、外来受診時に担当医に確認しましょう。 	
食事栄養管理	<ul style="list-style-type: none"> ●特別な栄養管理 (有 / 無) ●手術が終わるまでは食事を摂ることはできません 	<ul style="list-style-type: none"> ●手術終了後、帰宅時より食事・水分を摂る事ができます。 ●普通食が食べられます。制限はありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ●わさび・コショウ・からしなどの香辛料はほとんど消化されないまま便として排泄されるため、肛門を刺激するので摂りすぎに注意しましょう。 	
説明指導教育	<ul style="list-style-type: none"> ●病棟の案内をします。 ●手術前後の経過について説明します (主治医・看護師) ●手術室看護師の訪問があります。 ●薬剤師から薬の説明があります。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <手術の必要物品> ナプキン (手術後に使用します) </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffffcc;"> ※手術室に入室する時刻 (____ 時 ____ 分の予定) ※ご家族の方は、手術が始まりましたら、A棟5階食堂でお待ち下さい。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffffcc;"> ※ご家族の方、本人へ主治医から手術結果の説明があります。看護師が案内します。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ●退院後の生活指導 ●坐薬（肛門注入薬）の使用方法を説明します。 ●最初は腫れ、痛みがあり坐薬（肛門注入薬）を自分で入れるのは難しいですが、徐々に入れる練習をしましょう。 ●ウォッシュレットは排便時のみでなく最低朝・昼・夕・寝る前に使用しナプキンは汚れたら適時交換することで創部を清潔に保ちましょう  <ul style="list-style-type: none"> ●仕事などは退院後、徐々に始められます。長時間車の運転をするなど肛門を圧迫することは、なるべく避けましょう。

この用紙は入院時に必ずお持ちください。

京都桂病院 消化器センター 2015. 8. 25 Ver. 3-1

この内容について説明を受けました。 (署名) _____

説明した看護師 _____